畑の雑草防除

営農支援課　TAC
堀井　崇史

1. 除草剤はどのようして雑草を枯らすのか?

今日使われている除草剤の大部分は、植物の生長や体の維持に欠かせない

- ◆ **光合成を阻害**するタイプ〔シメトリン(マメットSMの**構成成分**)、バサグラン など〕
- ◆ **植物の成長ホルモンを撹乱**するタイプ
  〔2.4-D、クロメクロップ(水稲除草剤(サラブレッドRXフロアブル)の成分) など〕
- ◆ 光の存在下で**活性酸素を生成**させるタイプ　〔プリグロックスL など〕
- ◆ タンパク質を構成する**アミノ酸の生合成を阻害**するタイプ
  〔ラウンドアップマックスロード　タッチダウンiQ　バスタ液剤　ザクサ液剤 など〕です。

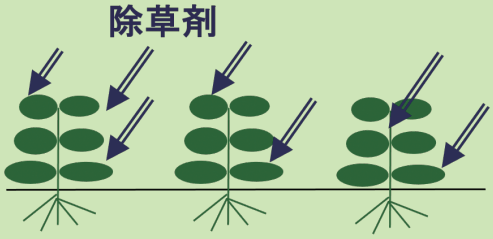
2. 茎葉処理除草剤 と 土壌処理除草剤

除草剤は、すでに**生長した雑草に散布して枯らす**「**茎葉処理除草剤**」、まだ**雑草が芽を出さないうちに土壌表面に散布して、雑草を生長させない**「**土壌処理除草剤**」の二つに大きく分けられます。

茎葉処理除草剤

すでに発生している雑草の**葉茎**に直接かけて枯らすタイプの除草剤。

ナブ乳剤　アージラン液剤
ラウンドアップマックスロード　タッチダウンiQ　バスタ液剤
ザクサ液剤　プリグロックスL

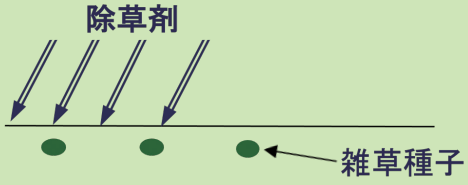


注)茎葉処理除草剤には、雑草が小さい時しか使えない薬剤と、草丈30cm程度まで大きくなっても使える薬剤があるので、ラベルの記載事項をよく読んでください。

土壌処理除草剤

雑草発生前に**土壌**表面に散布し、これから発生してくる雑草を抑える除草剤。

トレファノサイド剤　ゴーゴーサン剤　サターンバアロー剤
クレマート剤　ラッソー乳剤



畑では、対象作物が多岐にわたるため、各作物に共通して使用できる除草剤が限られています。
但し、**雑草**発生前の**土壌処理除草剤**では比較的幅広い作物に使用できる薬剤があるので、これらを**有効に使用することが重要**です。
除草剤による**雑草**防除以外にも、**マルチ**や**中耕培土等の方法**もあります。

●LINE 公式アカウント「営農タイムリー」でも
旬な営農情報を随時発信中!!　登録はこちらから→